

上野・不忍池のハスは 茨城県生まれ!?

筑西市(旧下館市)岡芹・定林寺



初夏から県内のハス田などで一斉に開花を迎えるハスの花。霞ヶ浦周辺ではレンコン栽培が盛んで茨城の農作物のひとつになっています。

その名前の由来は「はちす」と呼ばれていて、花たくと呼ばれる花の咲く部分がハチの巣に似ていることから名付けられたようです。

東京・上野の不忍池は誰もが知っているハスの名所ですが、このハスの花は茨城県産だったと言われます。

徳川家康が江戸城を造る際に、アドバイスを受けたのが天台宗の僧侶・天海でした。京都比叡山延暦寺で修行を積み家康に仕えた天海は、当時の下館藩主の水谷勝隆と親しくしていました。天海は陰陽道や風水の知識を活かして、江戸城と街づくりのプランを提案していきました。

その中のひとつに琵琶湖に見立てた不忍池がありました。不忍池にある中之島(弁天島)は琵琶期の竹生島を模して作ろうと提案したのが水谷氏でした。中之島と弁天堂を建てたのは水谷氏と下館から呼び寄せた農民たちで、池には筑西市岡芹付近のハスを移植したそうです。

今春から、常磐線が上野駅を経て東京駅・品川駅まで直結するようになりました。上野駅で降りる機会が減ってしまいましたが、上野に降り立ったらぜひ、茨城との結びつきを感じて下さい。

なお、筑西市岡芹にある定林寺の墓地には水谷家の歴代の墓が存在しています。歴史の感じられる旧下館市内にはみどころが点在しています。それら旧所名跡を巡るのも楽しみです。

〈参考文献〉「変貌する大東京に茨城縁故をさぐる」山本秋広著ほか



【アクセス】定林寺:真岡鐵道下館二高前下車、徒歩約10分
不忍池:上野駅から徒歩約20分

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>